

事業所名

児童発達支援 &lt;くれいす&gt;

支援プログラム (参考様式)

作成日

令和7 年

3 月

10 日

法人(事業所)理念	1. 個人の尊重 2. 存在意義のある企業 3. 共存共栄 4. 社会への貢献					
支援方針	・地域に根差し、関わる人々から愛される子を育てていきます。 ・「できた」を積み重ね、自己肯定感を高めていきます。 ・様々な経験、体験を通して、その子自身が考えて行動ができるように関わっていきます。					
営業時間		9 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無 あり
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	・衣・食・住に触れたプログラムを実施し、日常生活で必要になる基本的な動作の獲得を目指していきます。そのために来所してすぐと昼食後に衣服の着脱、たたむ練習をします。 ・排泄、着脱、食事、身だしなみへの支援を行い清潔を意識し保ち健康的で気持ちよく過ごせるようにします。 ・お弁当を食べる際には箸やスプーンを使って自分で食べられるように食べ方の練習をします。 ・クッキングや旬の食べ物に触れる買い物活動を通して生活を学びます。				
	運動・感覚	・サーキットや公園への外出など遊びを通した運動プログラムを実施します。楽しく体を動かしながら体の使い方(力の加減)や感覚をつかむ(気持ちの発散、自己表現などの)機会を提供していきます。 ・工作では手や指先の細かい使い方、ハサミなどの物の使い方を学べるようにしていきます。 ・手遊びや音楽に合わせて体を動かしたりリトミック運動など取り入れ基本的な体の動きを経験する機会を設けます。				
	認知・行動	・絵本や物語に触れ(話の内容を理解しようとする中で)想像力を育てていきます。 ・職員や他児との関わりの中で考えや感情を豊かにし、表出していく場所を作っていきます。 ・安心して過ごし、自らの意思を伝えやすい関係・環境作りを行い自発的な動きを育てていきます。				
	言語 コミュニケーション	・遊び、活動、あいさつなどを通して言葉のやりとりの楽しさを感じれる環境を提供していきます。 ・言葉の出ない児童も絵カードや、指差し、ジェスチャーを使ってのやりとりを楽しみ、伝える⇔伝える経験を増やすことで自信へとつなげていきます。 ・発音⇒発語を促していく支援をし、気持ちの表出があった際には共感し代弁していきます。(楽しいね、うれしいね、悲しいねなど)				
	人間関係 社会性	・好きな遊びを通して、職員との信頼関係を構築していきます。 ・自分一人で楽しむ→遊びや活動を通して他社に興味を持ち関わる機会を設けていきます。 ・関わる中で困難があったり不安を感じる場面では職員が間に入り困ったときに助けを求める力を育てていきます。 ・図書館や公園、支援センターなどの社会的資源を利用し、その場、その時に応じたルールや行動を学ぶ場を設けて経験へとつなげていきます。				
家族支援	・連絡帳の記載や送迎を通して、お子様の様子を伝えていきます。 ・年1～2回親子行事(運動会、芋煮会など)を行い、親子でのふれあいや親御さん同士の関わりを設けていきます。 ・電話や対面での相談援助、個別面談の機会を設けていきます。 ・ご家族向けのお便りを発行し、お子様の様子を伝えていきます。 ・保育参観			移行支援		・事業所間で合同イベントを行うことで、いろいろなお友達との交流を深めていきます。 ・外出体験(公園、お店、公共交通、公共施設など)を通して外へ出る機会を多く設けていくことで、社会でのルールやマナーを学び、自分でできることを増やしていきます。 ・就学に向け、学校や生活の中で必要になってくる力を育てるためのプログラムを活動に取り入れていきます。
地域支援・地域連携	・学校や相談支援事業所などの必要な関係機関と連携し、情報共有しながら支援を行っています。 ・外出体験(公園、お店、公共交通、公共施設など)を通して外へ出る機会を設けていきます。 ・SNSを活用し、施設の活動を発信していきます。 ・地域の図書館や支援センター、郵便局など社旗資源を利用し支援の幅を広げていきます。			職員の質の向上		・(定期)虐待防止研修、感染症予防研修、救命救急講習、防災訓練 ・(随時)強度行動障害養成研修、発達障害者支援研修、対人援助研修、てんかん研修など必要に応じて職員のスキルアップに努めています。
主な行事等	各月の季節行事(お花見、夏祭り、バーベキュー、運動会、クリスマス会、初詣、バレンタインデーなど)の他、体験型(電車でおでかけ、クッキング、買い物体験、外食体験、ピザづくり、そばづくりなど)のイベントを多く行っています。 保護者参加型の行事も行っています。 ・児発・放デイでの異年齢の関わる機会を設けています。					